

専修大学商学研究所主催 定例研究会
アリババ（中国）による「ニューリテール（新小売）」の挑戦：現状と展望

1. 開催日時：2019年7月20日（土） 13：30～16：30
2. 開催場所：専修大学 神田キャンパス 5号館4階541教室

<https://www.senshu-u.ac.jp/access.html>

<https://www.senshu-u.ac.jp/about/campus/>

3. 研究会のねらい

2018年、アリババ（中国）の馬雲会長は「ニューリテール（新小売）」という新たなコンセプトを提唱し、アリババグループを中心とするエコシステム（生態系）を構築し、経済圏全般にさまざまな変革をもたらしています。当然、中国小売市場にも大きな影響がもたらされつつあります。その代表が、キャッシュレス化の推進・拡大です。

今回は、アリババグループの研究機関であるアリババ研究院よりゲスト講師をお招きし、EC企業としてアリババがメーカー、小売業、消費者にどのようにアプローチしているのか、そして生活インフラになりつつあるECの位置づけと役割をどう見ているのかについて、お話いただきます。

4. プログラム

13:30～13:35 開会のご挨拶

13:35～14:00 解題「中国小売市場の現状とニューリテールについて」
専修大学商学研究所 孫維維所員

14:05～15:35 「デジタル時代におけるアリババの実践—メーカー・小売・消費者への対応」
アリババ研究院新商業研究中心 副主任 呂志彬氏（逐次通訳あり）

15:40～16:25 ディスカッション

16:25～16:30 閉会のご挨拶

報告者紹介

■ 呂志彬 氏 アリババ研究院新商業研究中心 副主任

2007年アリババに入社。2009年よりアリババ研究院に配属。ビッグデータ・マクロ経済指数、消費、小売業、メーカー、商品・価格、O2O、オムニチャネル、新小売などに関する研究に携わっており、アリババ研究院がグローバルコンサルティング会社と実施している多数の共同プロジェクトの責任者を歴任。アリババでは10年以上の職歴およびフィールド調査の研究経験を持つ。

<主なレポート>

『中国消費趨勢報告：三大新興力量引領消費新經濟』

『品質生活指南：互聯網高端消費橙皮書』

『C時代 新零售：阿里研究院解讀新零售研究報告』

『中国消費品牌發展報告』（2018、2019）

■ 孫維維 氏 専修大学商学研究所所員、商学部助教、博士（商学）

中国天津市出身。2006年中国天津財経大学商学部卒業。卒業後、中国大手家電量販会社に勤務。2018年専修大学大学院商学研究科博士後期課程修了。専修大学社会知性開発研究センターのリサーチ・アシスタントを経て現職。

<主な著書・論文>

- ・単著『中国におけるドラッグストア発展のダイナミクス』専修大学出版局、2019年2月。
- ・共著「中国における医療保険制度と医薬品流通改革：医薬品流通政策と流通システムの変革を中心に」『流通情報』2016年7月。
- ・「中国におけるドラッグストア研究：ワトソンの成長要因に関する考察」『商学研究所報』2015年9月。